

ジョージア（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在ジョージア日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
1	2	35	3	4	143	5	14	297	1	7	270	9	27	745

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[『海外日本語教育機関調査』のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

1983、ジョージアの首都トビリシにある外国語大学「Tbilisi Institute of Foreign Languages, Faculty of English Language」（2006年にイリア国立大学に吸収合併）にて当地の教育機関で初めて日本語教育が開始された。当時は選択科目の一つとして教えられていたが、1991年にトビリシ・アジア・アフリカ大学（2008年にトビリシ自由大学に吸収合併）に日本語学科が設立され、日本語教育が本格的に開始された。

1995年には、トビリシ市にある初等・中等教育機関「ジョージアン・スクール・トビリシ」（2022年に外務大臣表彰受賞、2025年に同校校長に外国人叙勲授与）でも日本語の授業が導入され、2025年12月1日時点では、2校の初等・中等教育機関と、5校の高等教育機関（うち4校は首都トビリシに所在）に日本語教育が実施されているほか、民間の語学学校約10校でも日本語教育が行われている。

背景

ジョージアでは柔道や空手等の武道に対する関心は高く、臥牙丸関、枥ノ心関、黒海関（2024年に外務大臣表彰受賞）といったジョージア人力士の活躍を通じて相撲人気も高まっており、これらが日本に対する関心の喚起にもつながっている。また、日本の伝統文化に加え、日本のポップカルチャーへの人気の高まりも相まって、特に若者の世代で日本語に対する関心は比較的強い傾向にある。当地にはジョージア茶道クラブや将棋連盟といった日本文化愛好団体が存在し、日本文化の普及活動も地道に行われている。

特徴

一部の初等・中等教育機関や民間の語学学校でも日本語が教えられているが、2025年時点では高等教育機関が日本語教育の中心となっている。特に、2023年にはトビリシ国立大学で、当地として初めて日本学専攻プログラムが開設されたことで、今後益々の日本文化及び日本語教育の振興が期待される。2025年11月時点で、初等・中等教育では123名、高等教育・その他では、216名が日本語を学習している。また2015年頃から、日本のアニメなどポップカルチャーに対する関心から日本語学習を始める若者が増えており、インターネット等を活用したオンライン学習者や独学者も少なくないと見られている。

最新動向

1991年：トビリシ自由大学の国際関係学部（旧トビリシ・アジア・アフリカ大学）において日本語教育が設置された。

2000年：トビリシ国立大学の国際関係学科において選択科目として日本語コースが設置された。

2007年：トビリシ国立大学人文学部極東学科が開設され、日本語が選択科目として設置された。

2017年：イリア国立大学において選択科目として日本語コースが設置された。

2019年：バトゥミ国立大学において選択科目として日本語コースが設置された。

2020年：英国大学において選択科目として日本語コースが設置された。

2023年：トビリシ国立大学人文学部極東学科に、当地初の日本学専攻学士プログラムが設置された。

教育段階別の状況

初等教育

下記【中等教育】を参照。

中等教育

2025年11月時点、トビリシ市内にある「ジョージアン・スクール・トビリシ」において、ジョージア人日本語教師の下、1年生から12年生までの約42名（うち6年生は35名、7年生は5名、11年生は2名）の生徒が日本語を学んでいる。同校は平成7年に公立学校「ジョージアン・スクール」として設立された後、政府の教育改革に伴い、平成17年（2005年）にトビリシ市第34番公立学校となり、平成23年（2011年）に現在の形である私立学校「ジョージアン・スクール・トビリシ」（2022年に外務大臣表彰受賞）になった。同校では、6年生に必修科目として、また7年生から12年生には選択科目として日本語を教えており、その準備として、1年生から5年生には日本の民話、文学、地理、民俗学、音楽、絵画といった日本文化を教えており、日本語を学習するための基礎を築いている。創設以来、750人を超える日本語学習者を輩出してきた。

また、トビリシ郊外の私立中等学校である英語学校「ブリタニカ」でも日本語が教えられており、7年生から10年生までの81名が日本語を学習している。

高等教育

日本語の専攻学士コースを設置しているのはトビリシ国立大学のみであり、この他、トビリシ自由大学、イリア国立大学、バトゥミ国立大学が副専攻や選択科目として日本語教育を行っている。2025年11月時点、JICA海外協力隊（JOCV）の日本語教育隊員1名がイリア国立大学にて活動している。

なお、2025年10月時点の各大学の日本語学習者は以下のとおり。

- (1) トビリシ国立大学 105名
- (2) イリア国立大学 29名
- (3) トビリシ自由大学 64名
- (4) バトゥミ国立大学 13名
- (5) 英国大学 5名

また2015年頃から、当地の大学と日本の大学及び高校の交流も徐々に活発になってきている。

2025年12月時点、学術交流がある大学機関は以下のとおり。

- (1) トビリシ国立大学：東京都立大学、帝京大学、神戸大学、大阪大学
- (2) イリア国立大学：東京都立大学
- (3) トビリシ自由大学：筑波大学、東洋大学、四国大学
- (4) ジョージア科学技術大学：高エネルギー加速器研究機構（KEK）、総合研究大学院大学
- (5) 英国大学：明星大学（明星高校）
- (6) ジョージア・アメリカ大学：実践女子大学、近畿大学
- (7) バトゥミ国立大学：東京都立大学

学校教育以外

当地では、民間の語学塾が多数存在し、日本語を教えている機関も5校以上存在している。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

ジョージアでは、旧ソ連の学校教育制度（9年制）から、12年制の初等～中等教育に移行した。12学年のうち、1～6学年が初等教育、7～10学年が基礎教育、11～12学年が中等教育に当たる。義務教育は1学年から10学年までであるが、高等教育を受けるためには11～12学年の修学が必要であり、実際には大部分の生徒がこの課程に進学している。高等教育は、12学年卒業後に大学（4年間）、または単科大学（4年間）で学び、学士号を取得する。

教育行政

初等、中等、高等教育機関は、教育・科学・青年省の管轄下にある。

言語事情

公用語はジョージア語である。旧ソ連時代の影響から、中高年の多くがロシア語を解するが、2003年のバラ革命以降、国内情勢も相まって若年層を中心に英語が第一外国語として主流になっている。

外国語教育

義務教育では、1年生から第一外国語として英語の授業が行われる。5年生から第二外国語の学習が始まり、ドイツ語、フランス語、ロシア語などの欧州言語に加え、2024年からは中国語も選択言語の一つに加えられることとなった。

専門学校（一般的な学校よりも特定の科目に力を入れた学校）では、2年生から1~2つの外国語の授業が始められることが多い。その他、リツェイ校、ギムナジア校などでは、入学と同時に2言語以上の外国語の授業が始まる。

高等教育では、主要な欧州の言語のほか、日本語、韓国語、中国語、ペルシャ語、アラビア語、トルコ語、ヘブライ語などの教育が行われている。

外国語における日本語の人気

若者を中心に日本語の人気は高まっているものの、学習機会や日本語能力を用いた就職機会に限られることもあり、欧米主要言語に比べると学習者数は少ない。大学間交流や留学機会の増加の他、日本語能力が活かされる就職機会を増やすことが重要である。

大学入試での日本語の扱い

大学入試時に日本語試験は実施されていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

【中等教育】の項を参照。

中等教育

「ジョージアン・スクール・トビリシ」で主に使用されている教科書は以下のとおり。

6年生：

『ひろこさんのたのしいにほんご』（凡人社）

教師が作成したオリジナル教材なども使用している。

7-12年生：

『みんなの日本語 1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語 2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

「ブリタニカ」で主に使用されている教科書は以下のとおり。

7年生：

まるごとの公式ウェブサイト <https://marugotoweb.jp/en/>

8-9年生：

『みんなの日本語 1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

10年生：

『みんなの日本語 2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

補助教材には、「まるごと+」のリスニングリソースと、基本漢字を体系的に学ぶための『BASIC KANJI BOOK Vol. 1』が含まれている。概定のリスト以外については、日々の学習アプローチを柔軟かつ対応的に調整している。

高等教育

トビリシ国立大学で主に使用されている教科書は以下のとおり。

『みんなの日本語 1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語 2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『BASIC KANJI BOOK Vol. 1』加納千恵子ほか（凡人社）

『BASIC KANJI BOOK Vol. 2』加納千恵子ほか（凡人社）

『Intermediate Kanji Book Vol. 1』加納千恵子（凡人社）

『ニューアプローチ中級日本語』小柳昇（語文研究社）

『ニューアプローチ中上級日本語』小柳昇（語文研究社）

『どんなときどう使う』（アルク）

『Speech for Basic Level Japanese』国際交流基金関西国際センター（凡人社）

イリア国立大学で主に使用されている教科書は以下のとおり。

『みんなの日本語 1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語 2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『BASIC KANJI BOOK Vol. 1』加納千恵子ほか（凡人社）

『日本語 N5 文法・読解まるごとマスター』水谷 信子（Jリサーチ出版）

『日本語 N4 文法・読解まるごとマスター』水谷 信子（Jリサーチ出版）

『今日からはじめる 感じがいい日本語 初級レベル コミュニケーションを楽しもう！』栗又由利子、世良時子（Gakken）

『Speech for Basic Level Japanese』国際交流基金関西国際センター（凡人社）

『ニューアプローチ中級日本語』小柳昇（語文研究社）

『日本語 N3 文法・読解まるごとマスター』水谷 信子、黒岩 しづ可、青木 幸子、高橋 尚子（Jリサーチ出版）

『会話の授業を楽しくするコミュニケーションのためのクラス活動 40—初級後半から上級の日本語クラス対象』石黒 圭（スリーエーネットワーク）

『Intermediate Kanji Book Vol. 2』加納千恵子（凡人社）

『ニューアプローチ中上級日本語』小柳昇（語文研究社）

『日常生活に見る日本の文化』（東京書籍）

『どんなときどう使う』（アルク）

トビリシ自由大学で主に使用されている教科書は以下のとおり。

『みんなの日本語1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『BASIC KANJI BOOK Vol. 1』納千恵子ほか（凡人社）

『BASIC KANJI BOOK Vol. 2』加納千恵子ほか（凡人社）

『日本を知る: その暮らし 365 日』板坂元（スリーエーネットワーク）

『ニューアプローチ中級日本語』小柳昇（語文研究社）

『ニューアプローチ中上級日本語』小柳昇（語文研究社）

『まるごと 日本のことばと文化』国際交流基金（三修社）

『ビジネス日本語 Ⅰ、Ⅱ』（凡人社）

『Intermediate Kanji Book Vol. 1』加納千恵子（凡人社）

『みんなの日本語 中級1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

バトゥミ大学で主に使用されている教科書は以下のとおり。

『みんなの日本語1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

英国大学で主に使用されている教科書は以下のとおり。

『みんなの日本語1』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語2』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

『ヤングのための日本語』（AJALT）

『新完全マスターN4 文法・語彙・単語・漢字・読解・聴解』三好裕子（スリーエーネットワーク）

学校教育以外

『げんき』『J-Bridge』『まるごと』などの教科書、漢字教材、日本国際交流基金から寄贈された書籍、さらに教師が作成したオリジナル教材などを使用している。

IT・視聴覚機材

トビリシ自由大学において遠隔授業用機材「Tele-Presense」を利用している。

5.教師

資格要件

初等教育

高等教育機関を修了（学士号以上取得）していることが基準。

中等教育

高等教育機関を修了（学士号以上取得）していることが基準。

高等教育

高等教育機関を修了（学士号以上取得）していることが基準。

学校教育以外

民営の言語学習センターなどで日本語が教えられている他、日本での留学経験者らが個人レッスンで日本語を教えている。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムはない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

2025年時点で、JICA 海外協力隊（JOCV）の日本語教育隊員1名がイリア国立大学にて活動している。また、日本語・日本教育文化センターでは、2025年12月時点では2名の日本語ネイティブ教師が在籍しており、いずれも非常勤で週3時間～週約8時間、日本語をジョージア人に教えている。

教師研修

特になし。

現職教師研修プログラム（一覧）

特になし。

6. 教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

ジョージア独自の組織は2026年1月時点では存在していない。他方で、日本に国費外国人留学生や国際交流基金の研修制度を使って日本で研修を受けた人たちが加盟する「ジョージア元日本留学生同窓会」が存在している。

最新動向

特記事項なし。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

JF からの派遣は行われていない

国際協力機構（JICA）からの派遣（2025年10月現在）

青年海外協力隊・海外協力隊

イリヤ大学 1名

トビリシ自由大学 1名

その他からの派遣

日本語教師の派遣は行われていない。

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9.評価・試験

日本語能力試験は年以降、毎年7月にトビリシ自由大学で実施されている。

10.日本語教育略史

1983年	Tbilisi Institute of Foreign Languages, Faculty of English Language において第二外国語として日本語導入（実施は1983-1986年、1989-1992年の間のみ。1993年以降休止中）
1990年	Japanese Language Courses にて日本語教育開始（1992年まで。1993年以降休止中）
1991年	トビリシ・アジア・アフリカ大学にて日本語教育開始
1992年	Secondary School N34, Author's School “Georgian School”で日本語教育（選択科目としての外国語の授業）開始
2000年	トビリシ国立大学に日本語学科設立
2007年	Georgian-English School “Britannica”において日本語教育開始

2015 年	ジョージア大学において日本語教育開始（2017 年から休止）
2017 年	イリア国立大学において日本語教育開始
2019 年	バトゥミ国立大学において日本語教育開始
2020 年	英国大学において選択科目として日本語コース開始。
2023 年	トビリシ国立大学人文学部極東学科に、当地初の日本学専攻学士プログラムが設置された。

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

E メール：kunibetsu@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）